

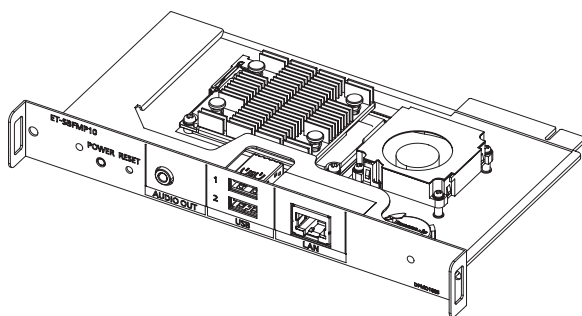
取扱説明書

基本ガイド

メディアプロセッサボード **業務用**

品番

ET-SBFMP10



日本語

はじめにお読みください。

本機の操作方法など、より詳しい内容については「取扱説明書 詳細編」をお読みください。「取扱説明書 詳細編」は、次の Web サイトからダウンロードできます。

<https://connect.panasonic.com/jp-ja/projector>



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- この取扱説明書は、ファームウェアバージョン 2.00 以上に対応しています。
- この「取扱説明書」とプロジェクターの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用の前に“安全上のご注意”（👉 3～4 ページ）を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は、製品本体の製造番号をお確かめください。

保証書付き

もくじ

安全上のご注意	3
ご使用になる前に	7
対応プロジェクター	7
ファンクションボードの取り扱いについて	8
付属品の確認	8
各部の名称とはたらき	9
電源インジケータについて	10
接続例	11
ファンクションボードの取り付け / 取り外し方	13
ファンクションボードの取り付け、取り外しの前に	13
ファンクションボードの取り付け方	14
ファンクションボードの取り外し方	15
仕様	16
保証とアフターサービス	17
保証書（本書に付属）	17
補修用性能部品の保有期間	17
修理のご依頼について	17

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

 	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

警告

	■ 水などの液体をかけたりぬらしたりしない (ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。) ⇒ 本製品の近くに水などの液体の入った容器を置かないでください。 ⇒ 水などの液体がかかったときは、販売店にご相談ください。
	■ 付属のねじは、乳幼児の手の届くところに置かない (誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。) ⇒ 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。
 分解禁止	■ 分解や改造をしない (火災や感電の原因になります。また、使用機器の故障の原因になります。)



注意

	■ 湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所に置かない (火災や感電の原因になることがあります。)
	■ 異常に温度が高くなる所に置かない (部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。) ⇒ 直射日光の当たる所や、熱器具などの近くには、設置・保管をしないでください。
	■ プロジェクター本体への本製品の取り付けや取り外しの際は、電源プラグをコンセントから抜く (感電の原因になることがあります。)

電源プラグ
を抜く

■ 商標などについて

- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface という語、HDMI のトレードドレスおよび HDMI のロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。
 - Intel、Intel ロゴは、Intel Corporation またはその子会社の商標です。
 - DisplayPort™ は、米国およびその他の国における Video Electronics Standards Association (VESA®) の商標です。
 - NDI は、NewTek, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。
 - Windows、Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
 - Mac と macOS、Safari、iPhone は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
 - IOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
 - Android および Google Chrome は Google LLC の商標です。
 - Adobe、Acrobat および Adobe Reader は Adobe の商標です。
 - その他、この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。
- なお、本文中では ® や TM マークは明記していません。

当製品に関するソフトウェア情報

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。

- (1) パナソニック コネクト株式会社が独自に開発したソフトウェア
- (2) 第三者が保有しており、パナソニック コネクト株式会社にライセンスされたソフトウェア
- (3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0 (GPL V2.0) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (4) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version3.0 (GPL V3.0) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (5) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.1 (LGPL V2.1) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (6) GPL V2.0、GPL V3.0、LGPL V2.1 以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェア

上記 (3) ～ (6) に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。詳細は、各オープンソースソフトウェアのライセンス条件をご参照ください。

オープンソースソフトウェアライセンスは本製品のファームウェアに格納されており、Web ブラウザーを使用して本製品にアクセスすることでダウンロードできます。詳しくは“Web 制御機能を使用する”（👉 取扱説明書 詳細編：“Web 制御機能を使用する”）をご覧ください。

パナソニック コネクト株式会社は、本製品の発売から少なくとも 3 年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた方に対し、実費にて、GPL V2.0、GPL V3.0、LGPL V2.1、またはソースコードの開示義務を課すその他の条件に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械読取り可能なソースコードを、それぞれの著作権者の情報と併せて提供します。

問い合わせ窓口（E メール）：oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com

■本書内のイラストについて

- 本製品やプロジェクター本体、メニュー画面（OSD）などのイラストは、実際とは異なることがあります。
- ご使用のコンピューターの機種、OS や Web ブラウザーの種類によって、実際にコンピューターの画面に表示されるものとは異なることがあります。

■参照ページについて

- 本書では、参照ページを（👉 00 ページ）のように示しています。
- 「取扱説明書 詳細編」への参照は、タイトルを使用して“XXXXX”（👉 取扱説明書 詳細編：“XXXXX”）のように示しています。
「取扱説明書 詳細編」（PDF）のダウンロードについては、次の Web サイトをご覧ください。

<https://connect.panasonic.com/jp-ja/projector>

「取扱説明書 詳細編」（PDF）を閲覧するには Adobe® Acrobat® Reader® をインストールする必要があります。



このシンボルマークは、ヨーロッパ連合（EU）をはじめとするリサイクルシステムを備えた国にのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

ご使用になる前に

本製品は、パナソニック コネクト株式会社製プロジェクターに取り付けて使用するファンクションボード（以下、「ボード」という）です。

本ボードをプロジェクターに取り付けることで、外付けの機器や複雑な配線を必要とすることなく、ボード上のストレージに保存した静止画 / 動画コンテンツのスケジュール再生や、ネットワークを介したストリーミング再生を行うことができます。

お知らせ

- スケジュール再生、ストリーミング再生について詳しくは、“再生機能を使用する”（ 取扱説明書 詳細編：“再生機能を使用する”）をご覧ください。
- スケジュール再生に使用するコンテンツの登録やスケジュールの作成には、「Visual Software Suite」を使用します。
- 「Visual Software Suite」を使用することで、幾何学ひずみを補正した映像やエッジブレンディングの調整を施した映像を、あらかじめ本ボード上で生成したうえで、プロジェクターへ出力することもできます。なお、この補正・調整済み映像の出力は、本ボードを介して行われるものに限られます。

対応プロジェクター

本ボードは、次のプロジェクターで使用できます。ただし、お使いのプロジェクターのファームウェアバージョンが次に示す適合ファームウェアバージョン未満の場合は、本ボードを正しく使用できません。最新のファームウェアにアップデートしたうえでご使用ください。

（2024 年 10 月時点）

対応プロジェクター	適合ファームウェアバージョン
PT-RQ25K、PT-RQ18K	3.00 以上 *1
PT-RZ24K、PT-RZ17K、PT-RZ14K	3.00 以上 *1
PT-REQ15	2.00 以上
PT-REZ15	2.00 以上
PT-REQ12、PT-REQ10	3.00 以上 *1
PT-REZ12、PT-REZ10、PT-REZ80	2.00 以上 *1
PT-RQ7、PT-RQ6	2.00 以上 *1
PT-RZ6	2.00 以上 *1

*1 2024 年 11 月以降、本ボードに適合するファームウェアを順次公開予定

お知らせ

- 本書では、プロジェクターの製品品番末尾のアルファベット記号を省略しています。
- 表内に記載がないプロジェクターにも対応している場合があります。ご使用のプロジェクターの「取扱説明書」をご確認ください。ご使用のプロジェクターの「取扱説明書」は、次の Web サイトからご確認いただけます。
<https://connect.panasonic.com/jp-ja/projector>
- プロジェクターのファームウェアバージョンは、オンスクリーンメニューの [プロジェクターセットアップ] メニュー→ [ステータス] で確認できます。
- プロジェクターのファームウェアをアップデートする手順については、ご使用のプロジェクターの「取扱説明書 詳細編」をご確認ください。
- プロジェクターのファームウェアバージョンが本ボードに適合していない場合、本ボードは他社製ファンクションボードとして認識されます。表内に記載されたプロジェクターに本ボードを取り付けて使用する際は、ファームウェアバージョンをご確認ください。

ファンクションボードの取り扱いについて

- ファンクションボードのコネクター部分には、直接手を触れないでください。
静電気によって部品が破壊されることがあります。事前に周辺の金属に触れるなど身体の帯電を除去したうえで、ファンクションボードを取り扱ってください。

付属品の確認

次の付属品が入っていることを確認してください。＜ ＞は個数です。

ねじ <2>

(XSB3+8FN)



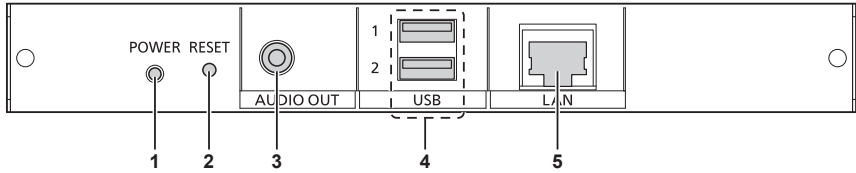
お願い

- 包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理してください。
- 付属品を紛失してしまった場合、販売店にご相談ください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かない所に適切に保管してください。

お知らせ

- 付属のねじは予備品です。プロジェクター本体のスロットカバーを固定するねじを紛失した際にご使用ください。
- 付属品の品番は、予告なく変更する可能性があります。

各部の名称とはたらき



- | | |
|---|---|
| <p>1 電源インジケータ〈POWER〉
本ボードの状態を表示します。</p> <p>2 〈RESET〉ボタン
本ボードのネットワーク設定を初期化するボタンです。
長押しすると、Web 制御画面の［システム］メニュー→［ネットワーク］ページの設定内容が初期化され、ボードが再起動します。</p> | <p>3 〈AUDIO OUT〉端子
音声信号を出力する端子です。</p> <p>4 〈USB〉端子
本ボードでは使用しません。</p> <p>5 〈LAN〉端子
ネットワークに接続する端子です。</p> |
|---|---|

お願い

- 本ボードに直接接続する LAN ケーブルは、屋内だけで配線してください。

お知らせ

- ボードの Web 制御画面の［システム］メニュー→［ネットワーク設定］ページの設定内容を初期化すると、ボードのネットワーク接続が切断されます。また、アカウントの設定も初期化されます。ボードの再起動が完了したのちに、改めてネットワークの設定とアカウントの設定を行ってください。なお、ボードの［システム］メニュー→［ネットワーク］ページの設定内容を初期化しても、プロジェクター本体の［ネットワーク］メニューの設定は初期化されません。プロジェクター本体のネットワーク接続は維持されます。

電源インジケータについて

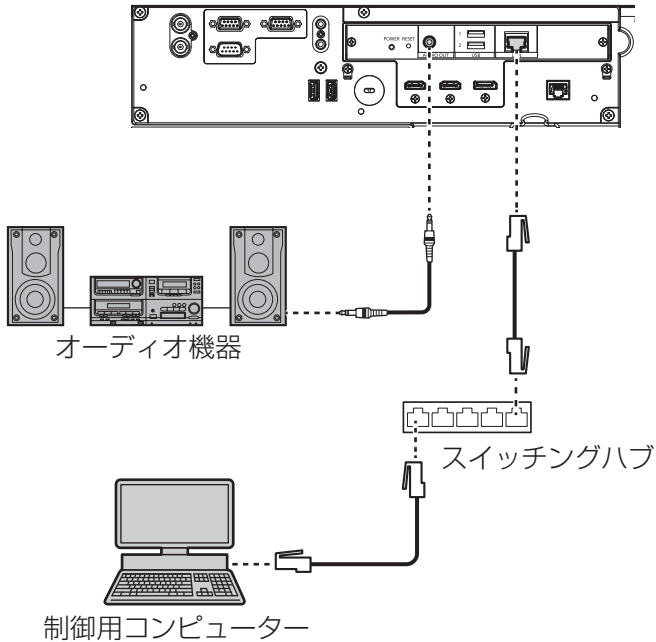
電源インジケータ〈POWER〉で本ボードの状態を確認できます。

点灯状況		ボードの状態
消灯		プロジェクターからボードに電源が供給されていません。
緑色	点灯	動作中です。
	点滅	ボードの設定を初期化しています。または、ファームウェアをアップデートしています。 初期化またはアップデート完了後、ボードは自動的に再起動します。
オレンジ色	点灯	起動中です。 しばらくすると、動作中（緑色点灯）になります。
赤色	点灯	警告が発生しています。
	点滅	エラーが発生しています。

お知らせ

- 本ボードは、プロジェクターからの電源供給が開始されてから OS の起動を行います。
OS の起動が完了してボードが動作中の状態になるまでの約 1 分間、電源インジケータ〈POWER〉はオレンジ色の点灯状態となります。
- [エラー / 警告] の記号の内容とその対処方法については、“自己診断表示について”
( 取扱説明書 詳細編：“自己診断表示について”) をご覧ください。
- Web 制御画面の [システム] メニュー→ [詳細] ページの [モード] と [通知] の設定によっては、電源インジケータ〈POWER〉が点灯・点滅しません。( 取扱説明書 詳細編：“Web 制御機能を使用する”)

接続例



お願い

- 本ボードおよびプロジェクターに直接接続する LAN ケーブルは、屋内だけで配線してください。
- プロジェクターやコンピューターなどの外部機器に接続する際、それぞれの機器に付属の電源コードと、シールドされた市販のケーブルを使用してください。

お知らせ

- ネットワーク機能を使用する場合は、LAN ケーブルが必要です。
- LAN ケーブルはストレートまたはクロス結線で、CAT5e 以上の規格に適合したものをご使用ください。システムの構成によってストレート / クロスのいずれか、または両方のケーブルを使用可能かが異なりますので、ネットワーク管理者にご確認ください。本ボードについては、ケーブルの種類（ストレート / クロス）を自動的に判別します。
- LAN ケーブル長は 100 m 以下のものをご使用ください。
- 〈AUDIO OUT〉端子からは、本ボードを使用してスケジュール再生されるコンテンツの音声信号、およびストリーミング再生されるコンテンツの音声信号のみが出力されます。プロジェクターに標準搭載の HDMI 端子や DisplayPort 端子、DIGITAL LINK 端子に入力した音声信号は出力されません。
- 「Visual Software Suite」を使用して本ボードのコンテンツ管理や、本ボードの出力映像の設置調整を行う場合は、本ボードの〈LAN〉端子をネットワークに接続してください。
- 本ボードの〈LAN〉端子を使用して、ボード上のハブを介してプロジェクターのネットワーク機能にアクセスすることもできます。
- プロジェクター標準搭載の〈LAN〉端子を使用してイーサネット信号を伝送する場合は、[ネットワーク] メニュー → [イーサネットタイプ] を [LAN] または [LAN & DIGITAL LINK] に設定してください。
- プロジェクター標準搭載の〈DIGITAL LINK IN/LAN〉端子を使用してイーサネット・シリアル制御信号を伝送する場合は、[ネットワーク] メニュー → [イーサネットタイプ] を [DIGITAL LINK] または [LAN & DIGITAL LINK] に設定してください。
- 本ボードの〈LAN〉端子を使用してイーサネット信号を伝送する場合は、[ネットワーク] メニュー → [イーサネットタイプ] を [LAN [SLOT]] に設定してください。
- [イーサネットタイプ] を [LAN & DIGITAL LINK] に設定すると、プロジェクター標準搭載の〈LAN〉端子と〈DIGITAL LINK IN/LAN〉端子がプロジェクターの内部で接続された状態になります。プロジェクター標準搭載の〈LAN〉端子と〈DIGITAL LINK IN/LAN〉端子を直接 LAN ケーブルで接続しないでください。また、ハブやツイストペアケーブル伝送器などの周辺機器を介して同じネットワークに接続しないようにシステムを構成してください。

ファンクションボードの取り付け / 取り外し方

プロジェクター本体へのファンクションボードの取り付けや取り外しは、専門の技術者に依頼することをお勧めします。静電気などにより故障が発生することがあります。販売店にご相談ください。

ファンクションボードの取り付け、取り外しの前に

- ファンクションボードの取り付け、取り外しの作業を行う前に、必ずプロジェクターの電源を切ってください。プロジェクターの電源を切るときは、ご使用のプロジェクターの「取扱説明書」に記載の手順を必ずお守りください。
- ファンクションボードのコネクター部分には、直接手を触れないでください。静電気によって部品が破壊されることがあります。
- 静電気破壊を防ぐため、事前に周辺の金属に触れるなど身体から静電気を除去してください。
- ファンクションボードの取り付け、取り外しの際は、けがをしないようご注意ください。プロジェクターの空きスロットの開口部や、ファンクションボードのブラケット端部などで、誤って手などをけがすることがあります。
- ファンクションボードをスロットに取り付けるときは、まっすぐにゆっくりと、コネクターに確実に差し込んでください。正しく取り付けられていないと、ボードが動作しなかったり、故障の原因になったりすることがあります。
- 手順内のイラストは、PT-REQ15 にファンクションボードを取り付ける場合を例としています。

ファンクションボードの取り付け方

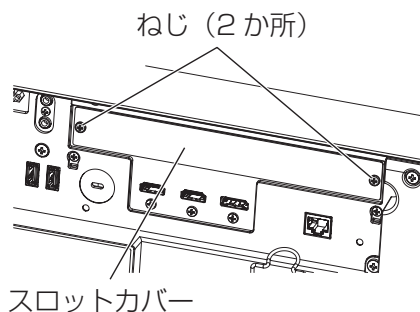


図 1

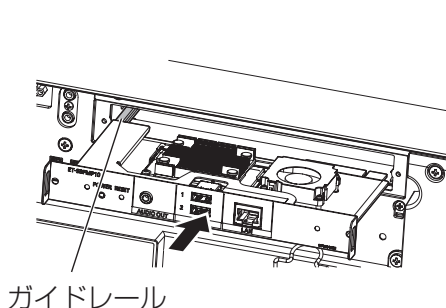


図 2

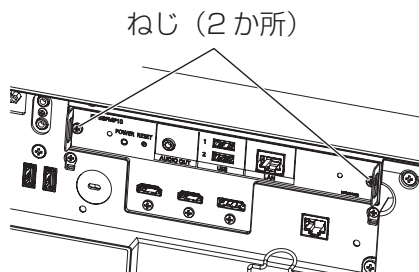


図 3

1) スロットカバーを取り外す (図 1)

- プロジェクターのスロットカバーを固定しているねじ (2 本) を、プラスドライバーで反時計方向に回して取り外してください。取り外したねじは、ファンクションボードの固定に使用します。
- 2 本目のねじを取り外す際は、スロットカバーが落下しないよう手を添えてください。
- 別のファンクションボードから交換する場合は、“ファンクションボードの取り外し方” (☞ 15 ページ) の手順に従ってファンクションボードを取り外してください。

2) ファンクションボードをプロジェクターに取り付ける (図 2)

- スロット内の左右にあるガイドレールの溝に沿ってファンクションボード差し込んでください。ブラケット部を押して最後までしっかりと押し込んでください。

3) ファンクションボードを固定する (図 3)

- 手順 1) で取り外したねじ (2 本) で、締めつけて固定してください。

お願い

- 取り外したスロットカバーは、不要になったファンクションボードを取り外したときに必要になります。将来また取り付けられるように保管しておいてください。

ファンクションボードの取り外し方

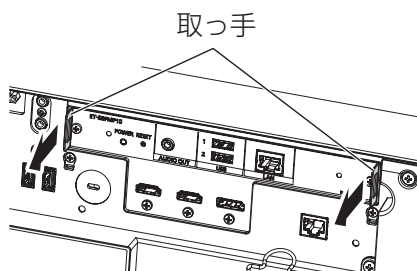


図 1

1) ファンクションボードを取り外す (図 1)

- ファンクションボードを固定しているねじ (2本) を、プラスドライバーで反時計方向に回して取り外してください。取り外したねじは、スロットカバーの固定に使用します。
- ファンクションボードの取っ手を持ってゆっくり取り出してください。

2) スロットカバーを取り付ける

- 保管していたスロットカバーを空きスロットに取り付け、手順 1) で取り外したねじ (2本) で、締めつけて固定してください。

お願い

- 空きスロットには、必ずスロットカバーを取り付けてください。
- 取り外したファンクションボードは、静電気防止袋に入れて保管してください。

仕様

対応スロット		Intel® Smart Display Module 仕様 (Intel® SDM 仕様)	
外形寸法	横幅	195 mm	
	高さ	25 mm	
	奥行	123.2 mm	
質量		260 g	
ストレージ		512 GB このうち約 30 GB はシステム領域として使用します。 (ユーザー使用不可)	
接続端子	〈AUDIO OUT〉 端子	M3 ステレオミニジャック x 1 0 V[rms] ~ 2.0 V [rms] (可変)、 出力インピーダンス 2.2 k Ω以下	
	〈LAN〉 端子	RJ-45 x 1 ネットワーク接続用 10Base-T/100Base-TX/1000Base-T	
映像出力信号		3 840 x 2 160/60p、3 840 x 2 160/50p、 1 920 x 1 080/60p、1 920 x 1 080/50p カラーフォーマット：RGB 色深度：8 bit	
スケジュール再生対応コンテンツ		「Visual Software Suite」のコンテンツ管理機能で作成 したスケジュールデータ *1	
ストリーミング 再生対応 コンテンツ	NDI	画像圧縮方式	High Bandwidth NDI
		画像解像度 / フレームレート	1 920 × 1 080 / 60 fps、 1 920 × 1 080 / 50 fps
		音声信号	リニア PCM、サンプリング周 波数：44.1 kHz / 48 kHz、 16 ビット、2 チャンネル
タイムライン再生対応コンテンツ		「Visual Software Suite」のコンテンツ管理機能で作成 したプレイリストデータ *1	

^{*1} スケジュールデータとは、本ボードでスケジュール再生するために必要なデータ一式をまとめたものの総称を指します。このスケジュールには、静止画や動画などのコンテンツ、複数のコンテンツを 1 つの素材としてまとめたプレイリスト、1 日の中で再生する内容を定義したタイムテーブル、さらにはそのタイムテーブルに基づいて再生する日、曜日、期間などを定義した設定データが含まれています。

プレイリストデータとは、静止画や動画などの複数のコンテンツを 1 つの素材としてまとめたものの総称を指します。

再生するコンテンツの解像度が、本ボードから出力する映像信号の解像度と異なる場合は、解像度を変換して出力されます。

再生できる静止画 / 動画コンテンツの詳細については、「Visual Software Suite」の取扱説明書をご覧ください。「Visual Software Suite」の取扱説明書は、次の Web サイトからダウンロードできます。
<https://connect.panasonic.com/jp-ja/projector/pass>

なお、ダウンロードするには、PASS に会員登録いただいたうえでログインする必要があります。

保証とアフターサービス

よくお読みください

故障・修理・お取扱い・メンテナンス

などのご相談は、まず、

お買い上げの販売店

へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、パナソニック 業務用プロジェクトアサポートセンター（次ページ）までご連絡ください。

* 内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますのでご了承ください。

保証書（本書に付属）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめのうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。内容をよくお読みいただき、大切に保存してください。

万一、保証期間内に故障を生じた場合には、保証書記載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

* 保証内容に関して、詳しくは次の Web サイトの「保証とアフターサービス」のページをご確認ください。

<https://connect.panasonic.com/jp-ja/projector>

補修用性能部品の保有期間 **5 年**

パナソニック コネクト株式会社では、本製品の補修用性能部品を、製造打ち切り後、5 年間保有しています。

* 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理のご依頼について

取扱説明書を再度で確認のうえ、お買い上げの販売店までご連絡ください。

■ 保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

■ ご連絡いただきたい内容

品名	メディアプロセッサボード
品番	ET-SBFMP10
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

パナソニック 業務用プロジェクターサポートセンター

電話 フリー
ダイヤル



0120-872-601

※携帯電話からもご利用いただけます。

営業時間：月～金（祝日と弊社休業日を除く）
9:00～17:30（12:00～13:00は受付のみ）

URL https://connect.panasonic.com/jp-ja/projector_support

- * 文書や電話でお答えすることがあります。また、返事を差し上げるのにお時間をいただくことがあります。
- * お電話の際には、番号をお確かめのうえ、お間違えのないようにおかけください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック コネクト株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

【修理をご要望されるお客様へのお願い】

当社ではお客様からお預かりする製品の取り扱いには細心の注意を払っておりますが、本製品のストレージに保存されているデータにつきましては、当社は一切の責任を負うことができません。

修理に出す前に、アプリケーションソフトを用いて設定・登録したデータがお客様のコンピューターにオリジナルデータとして残されていることをご確認いただきたく存じます。運送中や当社での修理中にデータが消失する可能性がございます。このような場合、当社は一切の責任を負うことはできませんので、あらかじめご了承くださいませようお願い申し上げます。

パナソニック コネクト株式会社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
 (イ) 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店にお申しつけください。
 (ロ) この商品は出張修理をさせていただきますので、修理に際し本書をご提示ください。
2. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
 (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 (ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
 (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
 (ニ) 車両、船舶等に搭載された場合及びその他指定外の使用条件で使用された場合に生じた故障及び損傷
 (ホ) 他の接続機器及び接続部材に起因して生じた故障及び損傷
 (ヘ) 本書のご提示がない場合
 (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 (チ) 離島または離島に準ずる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費及び高所の取外し、取付に要する実費
3. 本書は日本国内においてのみ有効です。
4. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

修理メモ

※お客様にご記入いただいた個人情報(保証書控)は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただきますのでご了承ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については、取扱説明書をご覧ください。

※This warranty is valid only in Japan.

Panasonic

出張修理

メディアプロセッサボード 保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には
本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
ご記入いただきました個人情報の利用目的は本書裏面に記載し
ております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い
上げの販売店にご連絡ください。詳細は裏面をご参照ください。

品番	ET-SBFMP10
保証期間	お買い上げ日から 本体 1 年間
※ お買い上げ日	年 月 日
※ お客様	ご住所 _____ お名前 _____ 様 電 話 () —
※ 販売店	住所・販売店名 _____ 電 話 () —

パナソニック コネクト株式会社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 TEL 0120-872-601

ご販売店様へ ※印欄は必ず記入してお渡してください。

キリトリ線